

要保存

岡保地区防災(避難)計画 増補改訂版



2018(平成30)年1月



岡保地区自主防災組織連絡協議会

目次

1	基本的な考え方	2
2	自主防災組織の意義と役割	
	(1) 支えあう関係づくりが地域防災力を高める	2
	(2) 住民が安心・安全に暮らすための取り組み	2
	(3) 地域における自主防災組織の意義と役割	3
3	防災・避難活動方針	
	(1) 平常時の対応	4
	(2) 災害時の対応	4
	(3) 避難行動要支援者(災害時要援護者)などへの支援	5
4	平常時の防災活動	
	(1) 自主防災訓練の実施	6
	(2) 資機材・器具等の整備・点検	6
	(3) 避難行動要支援者への支援体制の整備	6
	(4) 家具転倒防止対策への取り組み	6
5	岡保地区の特性と予想される災害	
	(1) 地区の特性	7
	(2) 予想される災害	7
	(3) 岡保地区水害・土砂災害ハザードマップ(予測図)	8
6	岡保地区避難経路図	
	(1) 地震時	9
	(2) 風水害時	10
7	避難場所	11
8	命を守るための3つの心得と避難情報・気象情報	12
9	地震発生時の行動チャート(流れ図)	
	(1) 平常時～災害発生～3時間	13
	(2) 災害発生後3時間～3日間	14
10	水害・土砂災害時の行動チャート(流れ図)	
	(1) 平常時～大雨警報(避難準備情報)	15
	(2) ～大雨特別警報(避難勧告～避難指示)	16
11	岡保地区自主防災体制	
	(1) 防災備蓄倉庫内備品リスト	17
	(2) 防災関連施設	18
	(3) 岡保地区災害対策本部の設置	19
	災害時・地区の連絡網	19



11 (4) 自主防災組織連絡協議会の体制
(5) 災害時・地区の連絡網(電話番号入り)
を毎年、別紙で配布します。「岡保自治会連合会・
自主防災会ファイル」と一緒に保存して下さい。

1 基本的な考え方

災害が発生した直後は、交通網の寸断、火災の同時多発などにより、消防や警察などの防災機関が十分に対応できない可能性があります。そんなとき力を発揮するのが「地域ぐるみの協力体制」です。

実際に、阪神・淡路大震災のときには、地域住民が自発的に救出・救助活動を行い、多くの人命を救うとともに、その後の復興にも大きな力を発揮しました。

また、東日本大震災のときのように避難所生活が長引く場合にも、地域住民が助けあってさまざまな困難を乗り越えなければなりません。

私たちの地域では、「自分たちの地域は自分たちで守る」という心構えで、地域のみんなで助け合いながら、災害に強いまちづくりを進めます。

2 自主防災組織の意義と役割



(1) 支えあう関係づくりが地域防災力を高める

多くの犠牲者を出した 1995(平成 7)年 1 月の阪神・淡路大震災では、普段からの近隣や地域社会とのつながり、結びつきがきわめて大切であることが再認識されることになりました。阪神・淡路大震災では、がれきの下から救出された人のうち約 8 割が家族や近所の住民らなどによって救出されました。

また、発災後の活動では、震源地に近く全半壊の建物が 8 割と甚大な被害を受けたにもかかわらず、普段からの見守り活動が機能し、さらには近隣同士の助け合い、消防団の活躍により、発災当日の午後 3 時過ぎには全員の安否確認が終わった旧北淡町富島地区の例や地域ぐるみのバケツリレーによって火災の拡大を食い止めた神戸市長田区真野地区での活動に見られるように、普段から支えあう関係が、大規模災害での犠牲を最小限に食い止めるために大きな役割を果たしています。

(2) 住民が安心・安全に暮らすための取り組み

ひとたび大規模な災害が発生したときに、被害の拡大を防ぐためには、国や県、市の対応(公助)だけでは限界があり、自分自身の身は自分の努力によって守る(自



助)とともに、普段から顔をあわせている地域や近隣の人びとが集まって、互いに協力しあいながら、防災活動に組織的に取り組むこと(共助)が必要です。そして、「自助」「共助」「公助」が有機的に繋がることにより、被害の軽減を図ることができます。

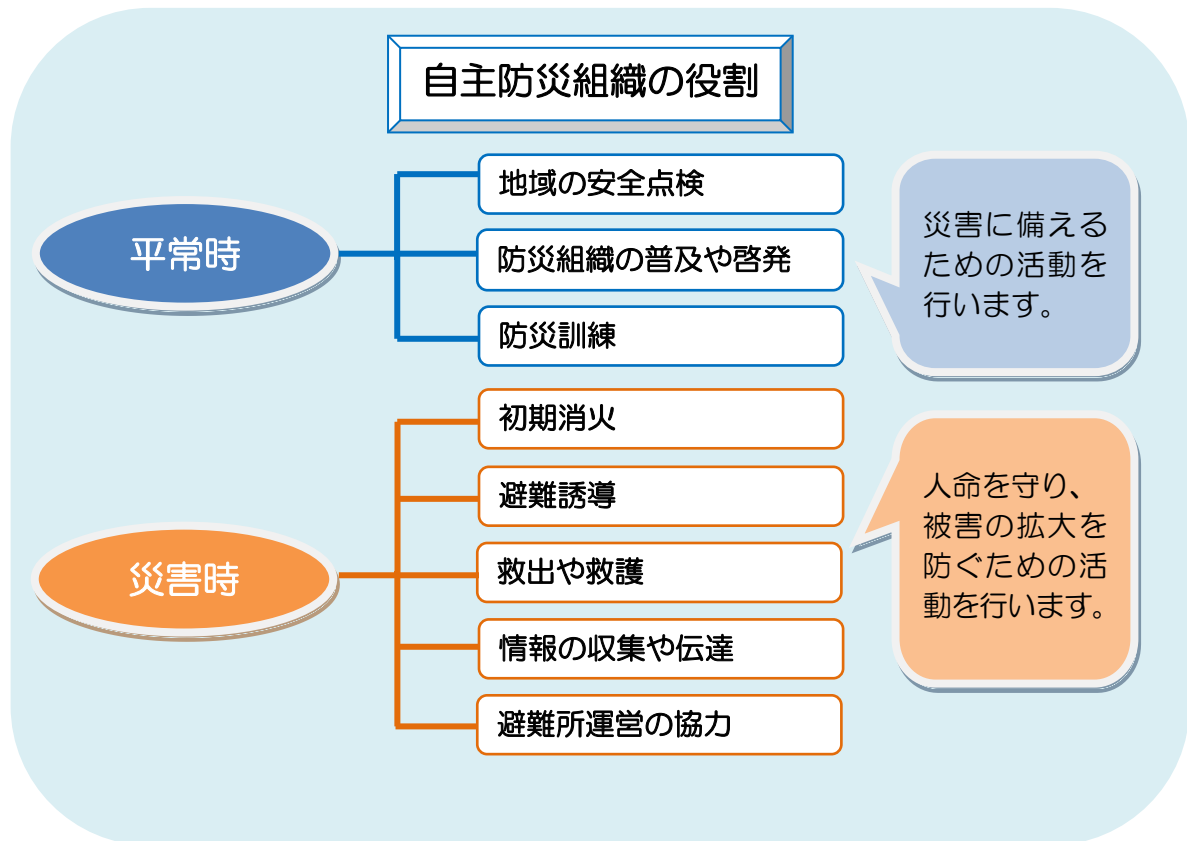
特に、地域で協力しあう体制や活動(共助)は、自主防災組織が担うべき活動の中核です。

(3) 地域における自主防災組織の意義と役割

自主防災組織は、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、自主的に結成された組織であり、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行う組織です。災害対策の最も基本となる法律である災害対策基本法では、「住民の隣保共同の精神に基づく自発的な防災組織」として、市町村がその充実に努めなければならないと規定されています。

自主防災組織が日ごろから取り組むべき活動としては、防災知識の普及、地域の災害危険の把握、防災訓練の実施、火気使用設備器具等の点検、防災用資機材の整備などがあります。また、災害時には、情報の収集・伝達、出火防止・初期消火、住民の避難誘導、負傷者の救出・救護、給食・給水などの活動があげられます。

そのほかにも、地域の活動団体と協力しながら、例えば家屋の耐震診断や家具の転倒防止をすすめるといった防災活動や、住宅防火対策として住宅用火災警報器の普及啓発、環境、福祉活動を行うなど、その活動は多様なものとなっています。



岡保地区自主防災組織連絡協議会

福井市河水町 10-13 岡保公民館内 〒918-8223

TEL & FAX : 54-2519 E-Mail : okabo-k@mx1.fctv.ne.jp

3 防災・避難活動方針

(1) 平常時の対応

いざというときに地域の力が発揮できるよう、地域のみんなで協力して防災活動に取り組みます。

ア 防災知識の普及・啓発

防災対策では、地域住民の一人ひとりが防災に関心を持ち、準備することが重要です。地域住民への防災知識の普及や啓発活動を行います。

イ 地域の安全点検

防災の基本は、自分たちの住むまちを知ることです。地域の危険な場所や防災上問題のある場所などを確認し、改善のための働きかけなどを行います。

ウ 防災資器材の整備

防災資器材は、災害発生時に活躍します。地域で防災資器材を整備し日頃の点検や使い方を確認します。

エ 防災訓練

防災訓練は、いざという時あわてず、的確に対応するための欠かせない活動です。地域住民に積極的な参加を呼びかけて、訓練を行います。

(2) 災害時の対応

災害時は、負傷者の発生や火災など様々な事態が発生する可能性があります。公共機関とも連携しながら、みんなで力を合わせて活動します。

ア 救出・救助活動

自分自身がケガをしないよう注意しながら、みんなで協力して負傷者や家屋の下敷きになった人の救出・救助活動を行います。

イ 避難誘導

地域住民を安全な避難場所へ誘導します。

ウ 初期消火活動

消防車が到着するまでの間、火災の延焼拡大を防ぐための初期消火活動を行います。

エ 医療救護活動

医師の手当てが受けられるまでの間、負傷者の応急手当をして、救護所へ搬送します。

オ 情報の収集・伝達

町内の被災状況や火災発生状況などを取りまとめ、岡保地区災害対策本部へ報告します。また、対策本部は公共機関などから正しい情報を収集し、地域住民に伝達します。

カ 給食・給水活動

地域で必要な物資を把握し、公共機関とも連携しながら、必要に応じて炊き出しなどの給食・給水活動を行います。

(3) 避難行動要支援者（災害時要援護者）などへの支援

災害時に大きな被害を受けやすいのは、高齢者や障害者、子どもなど、人の助けを必要とする人＝避難行動要支援者（災害時要援護者）です。こうした避難行動要支援者（災害時要援護者）を災害から守るため、みんなで協力しながら支援を行っていきます。

ア 避難行動要支援者（災害時要援護者）の身になって、防災環境の点検・改善を行います。

目や耳の不自由な人にも、警報や避難情報がきちんと伝えられるか、避難経路等に障害物や危険な場所はないかなどを点検し、改善に努めます。

イ 避難するときは、しっかり誘導します。

隣近所の助けあいが重要です。一人の避難行動要支援者（災害時要援護者）に複数の避難支援者を決めておきます。

ウ 困ったときこそ温かい気持ちで接します。

非常時こそ、不安な状況に置かれている人にやさしく接する必要があります。困っている人や避難行動要支援者（災害時要援護者）には、思いやりの心を持って接します。

エ 日頃から積極的にコミュニケーションを図ります。

いざというときに円滑に支援ができるよう、日頃から積極的に避難行動要支援者（災害時要援護者）とのコミュニケーションを図ります。

4 平常時の防災活動

(1) 自主防災訓練の実施

災害発生時、地域住民が『岡保地区防災（避難）計画』に沿って適切な行動ができるよう、市や消防などとも連携しながら、次の訓練を中心とした自主防災訓練を毎年度実施します。

ア 避難訓練（避難行動要支援者（災害時要援護者）の支援を含む）

イ 情報収集・伝達訓練

ウ 応急処置訓練

エ 給食・給水訓練

オ 啓発活動

訓練の実施後は、訓練結果を検証し、次回訓練に反映するなど、定期的に活動内容を見直し、必要があれば『岡保地区防災（避難）計画』の見直しを行います。

(2) 資機材・器具等の整備・点検

活動体制の各班を中心に、資機材・器具等の整備・点検を定期的実施します。

班 名	内 容	時 期
消 火 班	消火用器具の整備・点検	自主防災訓練時
救出・救護班	防災資機材・救出用器具の整備・点検	自主防災訓練時
避難誘導班	避難経路の整備・点検	自主防災訓練時
給食・給水班	給食・給水器具の整備・点検	自主防災訓練時

(3) 避難行動要支援者への支援体制の整備

各防災会は、避難行動要支援者（災害時要援護者）の支援体制を整備します。

班 名	内 容	時 期
自主防災会 (各自治会)	避難支援プランの作成完了	2017年度末まで
	支援体制・方法の検討・整理	2018年度末まで
	定期的な避難支援プランの見直し	毎年度

(4) 家具転倒防止対策への取り組み

岡保地区自主防災連絡協議会は、効果の高い減災対策の一つといわれ、比較的簡単にできる「家具転倒防止」を広め、家の中が少しでも安全な場所となるよう取り組みます。

5 岡保地区の特性と予想される災害

(1) 地区の特性

- 北部には荒川が流れ、河川改修が進んでいない区間があります。
- 近年、荒川へ流れる農業排水路で溢流がみられ水田に被害がでています。
- 山際に住宅地があり土砂災害に遭う危険性があります。
- 土砂災害危険地域に指定された場所があります。
- 花野谷川は谷が深く急傾斜で、過去に福井豪雨で氾濫したことがあります。
- 平地では地盤が弱い場所があります。

(2) 予想される災害

■集中豪雨（ゲリラ豪雨）や台風による被害

次のような被害が想定されます。

- 荒川の氾濫や堤防の決壊
- 堅達、寮、殿下、印田町周辺で家屋への浸水（50cm 未満）
- 堅達、坂下、河水、花野谷、大畑、次郎丸、岡西谷各町でがけ崩れ
- 堅達、坂下、河水、花野谷、宮地、大畑、次郎丸、岡西谷各町での土石流

■地震による被害

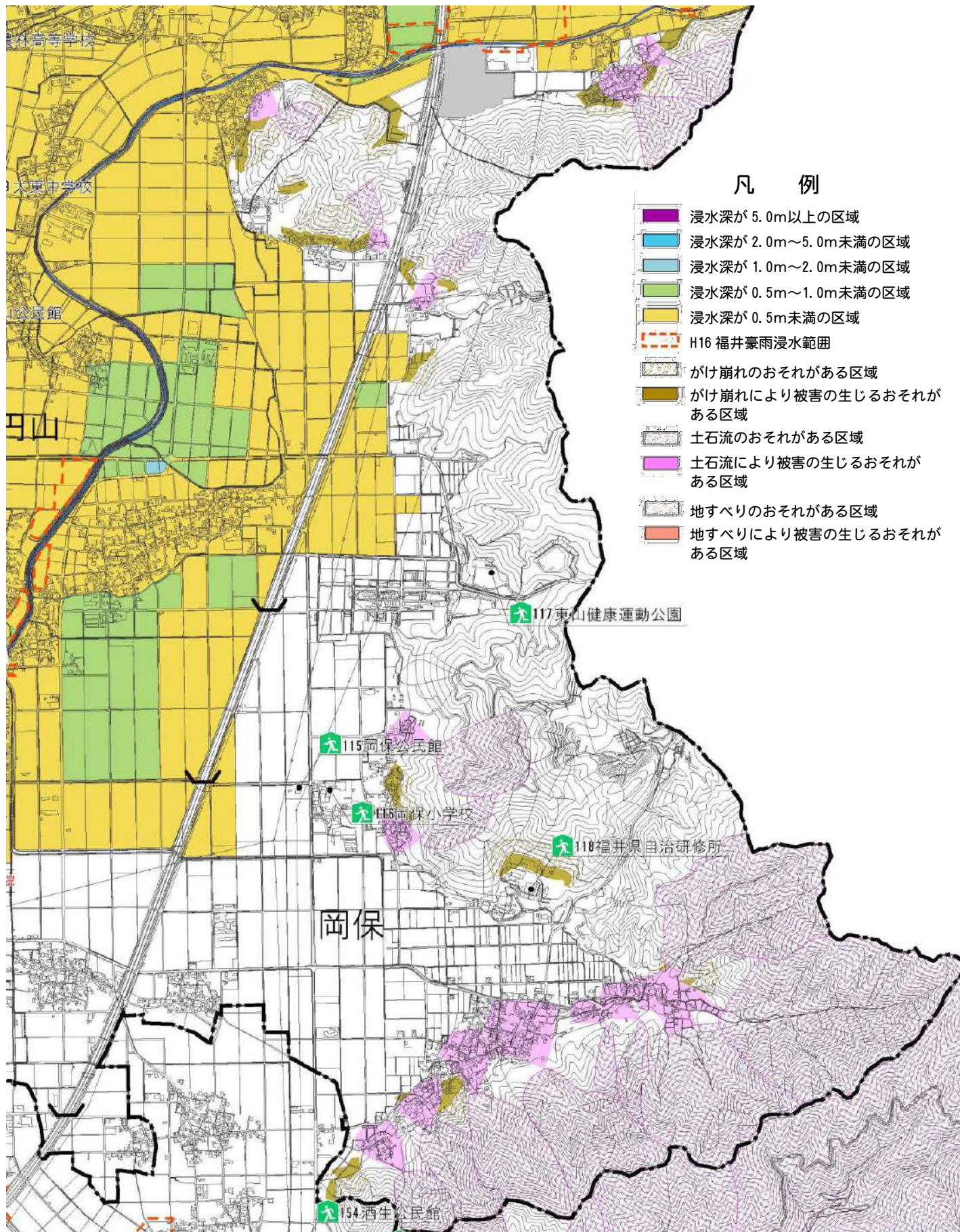
- 家屋の倒壊や火災
- ブロック塀の倒壊
- 山際の各町でのがけ崩れ、地滑り
- 荒川の堤防の決壊、橋の損壊

■暴風（竜巻など）による被害

- 家屋や電柱の倒壊、倒木




(3) 岡保地区水害・土砂災害ハザードマップ（予測図）



6 岡保地区避難経路図



 AED設置場所	ジャストコーポレーション 52-7800	勝縁寺 54-5149	山翠苑 53-2586
	東山健康運動公園プール 54-9190	あけぼの園 52-5575	藤岡サッカー場
	岡保公民館 54-2519	岡保小学校 54-5824	岡保こども園 54-5825
	県消防学校 53-7553	県警察学校 53-2156	岡保きらめき 52-0810

風水害



7 避難場所

町 名	一時集合（避難）場所	
	地震時	水害時等
印田町	殿下町いきいき広場	殿下町いきいき広場
殿下町	いきいき広場	殿下町集落センター
寮町	寮町グラウンド	勝縁寺
堅達町	堅達町集落生活改善センター前	堅達町集落生活改善センター
坂下	坂下集落防火水槽南	北陸自動車道トンネル〔福井北8〕
河水町	河水町集落生活改善センター	河水町集落生活改善センター
花野谷町	花野谷町集落生活改善センター	花野谷町集落生活改善センター
宮地町	宮地町集落生活改善センター	宮地町集落生活改善センター
大畑町	大畑町集落生活改善センター	岡保公民館（個別に）
次郎丸町	岡の泉	岡の泉
岡西谷町	防火水槽前	家畜衛生研究所
合島町	合島町地区集落生活改善センター	合島町地区集落生活改善センター
荒木別所町	白山神社	荒木別所町ふれあい会館
曾万布町	岡保きらめき駐車場	岡保きらめき駐車場



	収容避難所	
	地震時	水害時等
全町	岡保小学校（54-5824）	岡保公民館（54-2519）

台風や集中豪雨等の水害（洪水・土砂災害）のときに「避難準備情報、勧告、指示」が発令された時は直接『岡保公民館』 54-2519 へ避難してください。

避難するときの心得

- 【1】 非常食や持ち出すものを準備して・・・
非常食や飲料水、懐中電灯など避難時に持ち出すものを準備しておきましょう。
- 【2】 正確な情報収集を・・・
テレビ・ラジオなどの気象情報や災害情報、市役所からの避難情報に注意しましょう。
- 【3】 避難するときは親戚などに知らせてから・・・
避難するときは、避難すること、避難場所などを親戚の人などに伝えましょう。また、避難先をメモ書きし、玄関に貼っておきましょう。
- 【4】 火の元、戸締まりの確認を・・・
ガスの元栓を閉める、電気のブレーカーを落とす、戸締まりはしっかりと。
- 【5】 避難は徒歩で・・・
浸水している場所では、車が動かなくなるときがあるので、車での避難は大変危険です。原則として、徒歩で避難しましょう。
- 【6】 動きやすい格好で、浸水後の避難は危険・・・
避難するときは、動きやすい服装で、必ず2人以上で避難しましょう。また、浸水した道路では用水に流されたり、マンホールに落ちたりする危険があります。浸水が始まる前に避難しましょう。

8 命を守るための3つの心得と避難情報・気象情報

水害や土砂災害は、深夜にも発生します。あわてず、いざという時の備えをすすめておくことが大切です。

国土交通省では、土砂災害から身を守るための3つの心得を推奨しています。

心得① ハザードマップで危険箇所を確認

心得② 雨が降り始めたら情報を確認

心得③ 豪雨になる前の早めの避難

福井市の避難情報

情報の種類	住民に求める行動	発表時の状況
避難準備 ・高齢者 等避難開始	<ul style="list-style-type: none"> ●避難に時間のかかる人は避難を始めましょう。 ●非常時持ち出し品を用意するなどいつでも避難できるよう準備してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者、要介護者、障がい者、妊婦等の方は支援者とともに、避難を始めなければならない状況。 ●人的被害が発生する可能性が高まっている状況。
避難勧告	<ul style="list-style-type: none"> ●速やかに避難を始めてください。 ●避難勧告が発令されたときには、あらかじめ決めておいた避難行動を開始してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●通常の避難ができる方についても、避難を始めなければならない状況。 ●人的被害が発生する可能性が高まっている状況。
避難指示 (緊急)	<ul style="list-style-type: none"> ●緊急に避難してください。 ●避難中の方は確実に避難を完了してください。 ●避難の時間的余裕がない場合は生命を守る最低限の行動をしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害の前兆現象の発生や切迫した状況から、人的被害が発生する可能性が非常に高まっている状況。 ●または実際に人的被害が発生した状況。

参考：福井市ホームページ「避難に関する情報（避難勧告等）について」

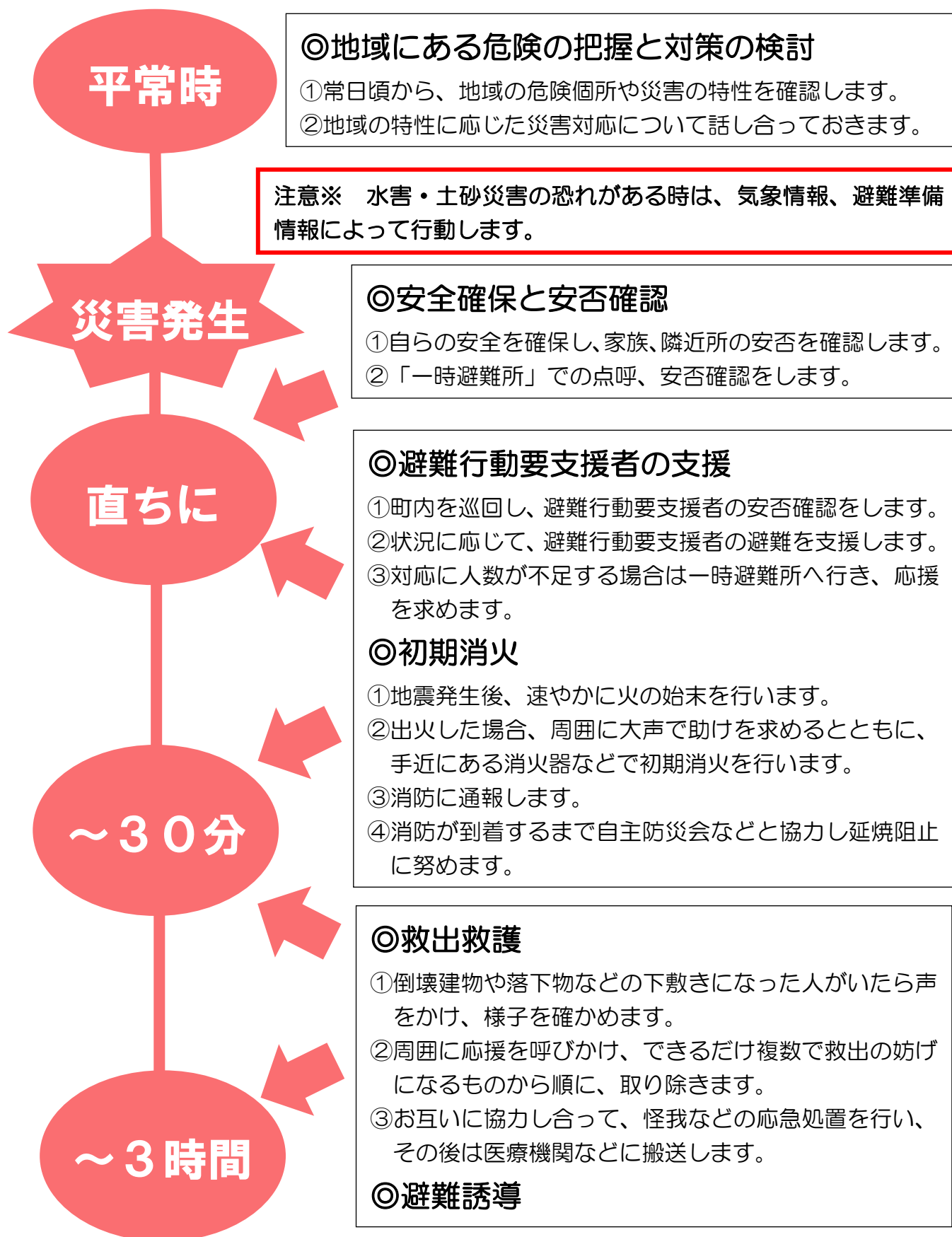
気象庁の気象情報

種類	内容
大雨特別警報	数十年に一度の降水量となる大雨が予想される場合に発表されます。浸水や土砂災害などの重大な災害が発生するおそれの著しく大きい状況です。
大雨警報	大雨による重大な災害（浸水災害や土砂災害）が発生するおそれがあると予想されるときに発表されます。
洪水警報	大雨、長雨、雪どけなどにより河川が増水し、重大な災害（河川が増水や氾濫、堤防の損傷や決壊）が発生するおそれがあると予想されるときに発表されます。
大雨注意報	大雨による災害（浸水災害や土砂災害）が発生するおそれがあると予想されるときに発表されます。
洪水注意報	大雨、長雨、雪どけなどにより河川が増水し、災害（河川が増水や氾濫、堤防の損傷や決壊）が発生するおそれがあると予想されるときに発表されます。

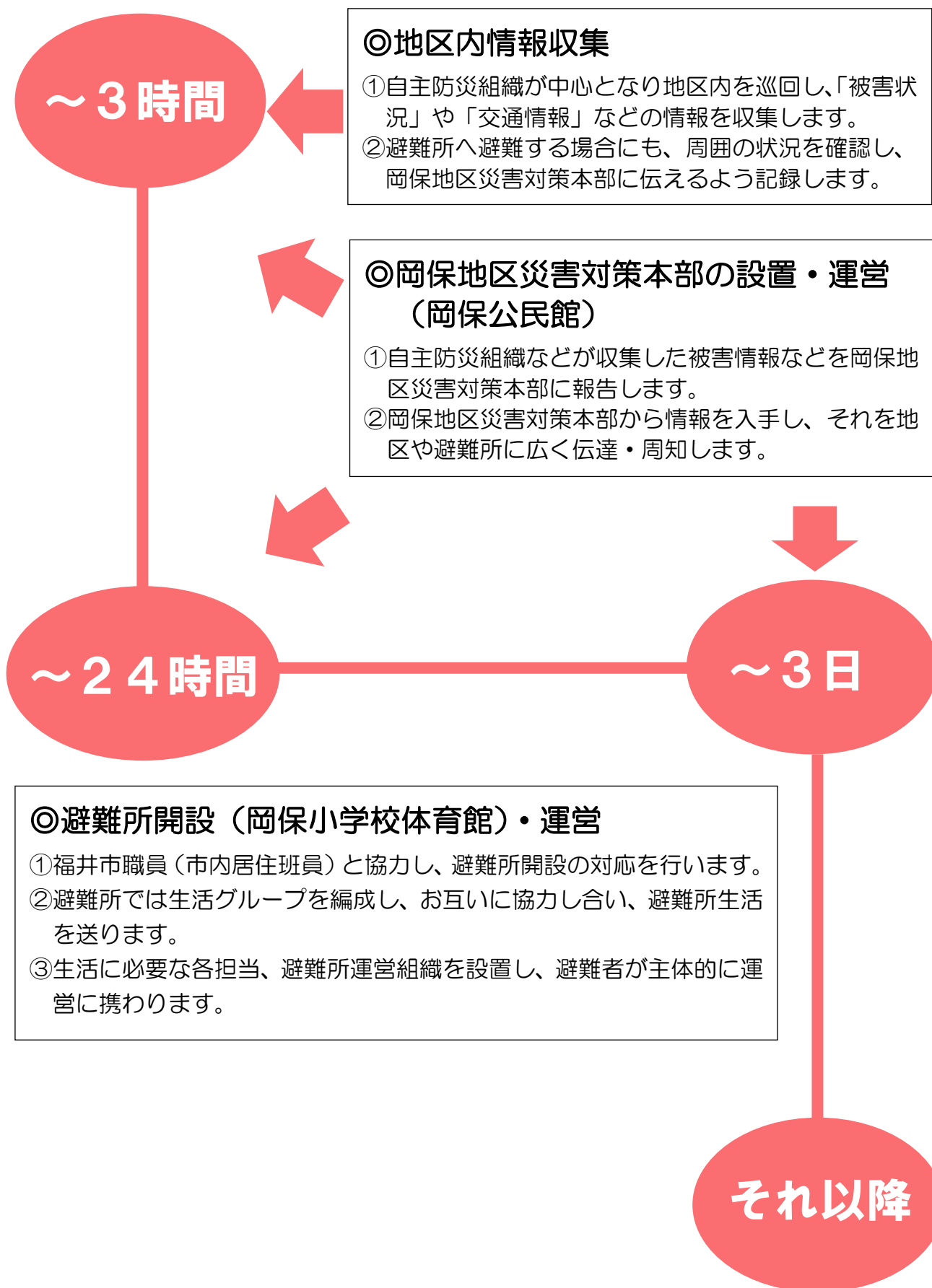
参考：気象庁ホームページ「気象警報・注意報の種類」

9 地震発生時の行動チャート（流れ図）

【平常時～災害発生～3時間】

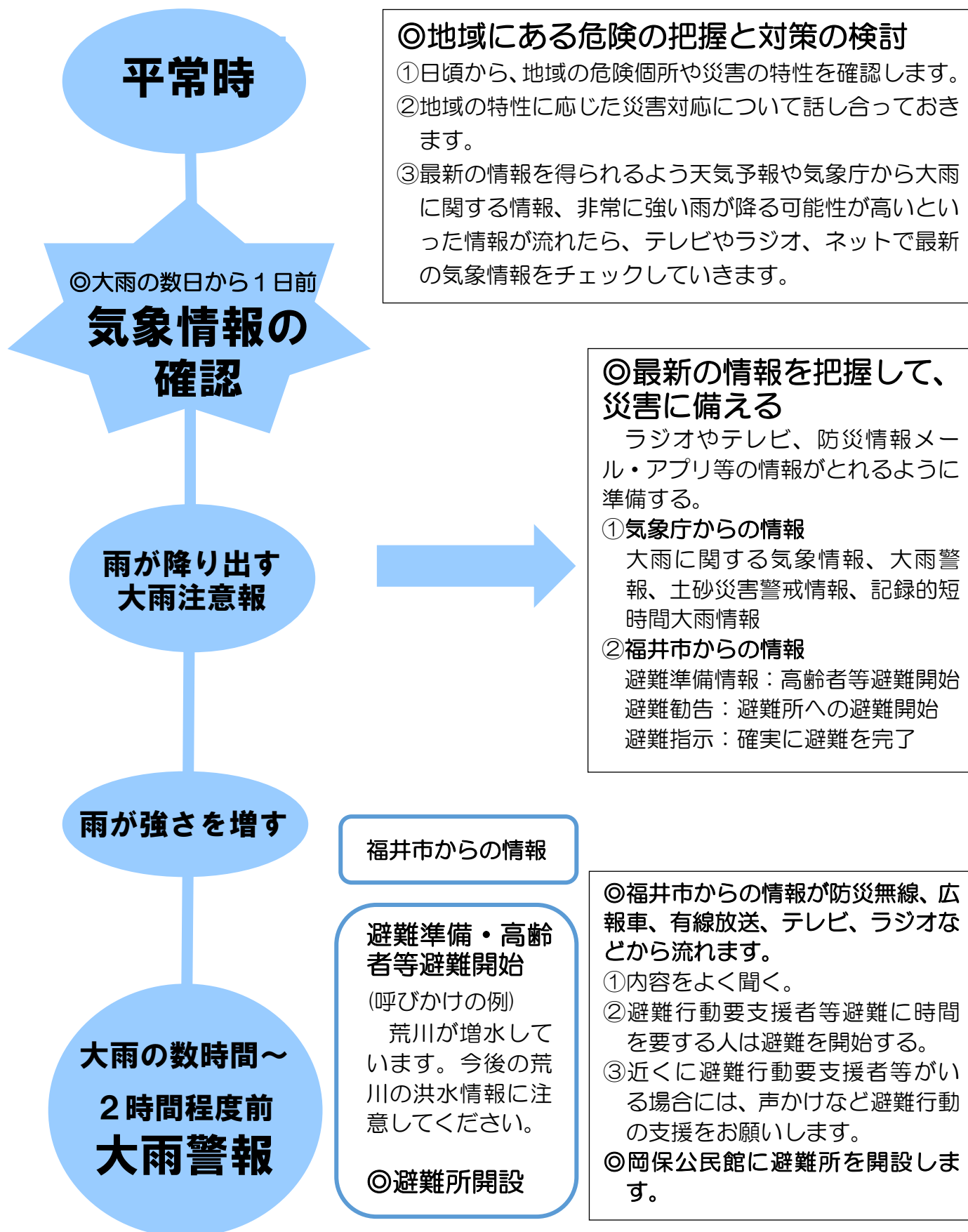


【災害発生後 3 時間～ 3 日間】



10 水害・土砂災害時の行動チャート（流れ図）

【平常時～大雨警報（避難準備情報）】



【～大雨特別警報（避難勧告～避難指示）】

さらに強い雨が降り続く

大雨特別警報

小康状態

それ以降

避難勧告

(呼びかけの例)
荒川の堤防が決壊する恐れがあります。住民の方は避難を始めてください。

避難指示（緊急）

数十年に一度の、これまでに経験したことのないような、重大な危険が迫っています。直ちに命を守る行動をとってください。

◎避難所運営（岡保公民館）

- ①福井市職員（避難所対応員）と協力し、避難所開設の対応を行います。
- ②長期にわたる場合は生活に必要な各担当、避難所運営組織を設置し、避難者が主体的に運営に携わります。

◎地区内情報収集

- ①自主防災組織が中心となり地区内を巡回し、「被害状況」や「交通情報」などの情報を収集します。
- ②各戸の状況を確認し、支援ニーズをとりまとめ、岡保地区災害対策本部に伝えます。

- ①堅達、寮、殿下、印田町周辺で家屋への浸水の恐れがあります。
（50cm～1m未満）
- ②周囲の状況に応じて、避難所または自宅の2階へ避難してください。

- ①堅達、坂下、河水、花野谷、宮地、大畑、次郎丸、岡西谷各町では土石流、がけ崩れの恐れがあります。
- ②周囲の状況に応じて、避難所または自宅の2階（山と反対側）へ避難してください。

◎岡保地区災害対策本部の設置・運営（岡保公民館）

- ①自主防災組織などが収集した被害情報などを岡保地区災害対策本部に報告します。
- ②福井市災害対策本部から情報を入手し、それを各自治会や避難所に広く伝達・周知します。

11 岡保地区自主防災体制

(1) 防災備蓄倉庫内備品リスト

福井市河水町10-13岡保公民館西側

(福井市危機管理室配備)

(2017(平成29)年10月28日現在)

資材名	数量
災害対策用ビスケット	320
災害対策用毛布	40
ワンタッチトイレ	2
車椅子対応型トイレ	1
担架	1
レスキューセット	1
一輪車	1
ラジオ付き懐中電灯	1
カセットコンロ	2
カセットガス	60
折り畳み式リヤカー	1
調理セット	1
投光器	1
ランタン	1
カセットガス発電機	1
ハンドマイク	1
救急セット	1
スコップ	17



福井市防災備蓄倉庫(岡保公民館西側)



非常用貯水装置(岡保小学校校庭)



防災無線
(岡保小学校校庭)

(岡保自主防災組織連絡協議会配備)

資材名	数量	資材名	数量
土のう袋	800	ブルーシート	12
投光器	6	投光器スタンド	2
ガソリン発電機	1	懐中電灯	4
タンク付空気入れ	1	ごみ袋	10×27
自主防災スタッフジャンパー	30	水タンク・薪等	

(2) 防災関連施設

ア 医療機関

種 別	名 称	住 所	連 絡 先
救急指定医療機関	福井県済生会病院	和田中町船橋 7-1	23-1111
その他の医療機関	有塚医院	和田東 2-1814	24-6060
	野村内科医院	上中町 36-8	53-8568
	藤沢小児科医院	和田中町 110-20	24-1310
	吉村医院	北四ツ居 2-18-31	53-8880

イ 岡保地区内の福祉関連施設

名 称	住 所	連 絡 先	備 考
東山健康運動公園	寮町 50-5	54-9190	状況により避難所開設
あけぼの園	河水町 5-1-1	52-5575	総合福祉施設
岡保きらめき	曾万布町 7-18	52-0810	グループホーム等
ほほ咲みの郷	花野谷町 43-40-2	54-2206	児童養護施設等
山翠苑	堅達町 24-1	53-2586	特別養護老人ホーム

ウ 付近の県・市施設

名 称	住 所	連 絡 先	備 考
市防災センター	和田東 2-2207	20-5156	
県消防学校	大畑町 97-21-3	53-7553	
県農業試験場	寮町辺操 52-21	54-5100	
警察学校	荒木新保町 5-9	53-2156	

エ その他

名 称	住 所	連 絡 先	備 考
東部建設	河水町 22-2-1	54-2132	
東福建設	宮地町 46-16	53-6226	
福飛建設	荒木別所町 8-17-3	54-8250	
明正建設	曾万布町 10-13	53-2336	

(3) 岡保地区災害対策本部の設置

班名	担当者(団体名)	災害時の役割
総務班	【本部長】 自治連合会長	全体調整 関係機関との調整 被害・避難状況の全体把握 福井市災害対策本部への報告
	自主防災連会長 自主防災連副会長 自主防災事務局長 市 居住班員 公民館長 社協会長	
情報班	公民館主事 市 居住班員	公共機関等からの情報収集・伝達 学校、保育園、各施設との調整
救護班	看護経験者	応急手当・医療機関への搬送手配
給食・給水班	婦人会 日赤奉仕団	炊き出し等の給食・給水活動対応準備
避難所開設班	市 居住班員	避難所の状況、安全確認と開設準備
防犯隊 消防団	岡保地区防犯隊 消防団岡保分団 女性防火クラブ	地区内防犯活動の指揮、状況把握 地区内消防活動の指揮、状況把握

●災害時・地区の連絡網

